



お問い合わせ ● 山形大学人文社会科学部

〒990-8560

山形県山形市小白川町 1 丁目4-12

TEL. 023-628-4203

小白川キャンパス事務部

総務課学部総括担当 (人文社会科学部担当)

www-hs.yamagata-u.ac.jp



Edited by Izumi AKAKURA, Naoki AMANO, Yosuke GODA, Shih-chia HSU, Mitsunori IKEDA, Masao IMAMURA, Yutaka ITO, Yukiko KOIZUMI, Masaru NISHIGAMI, Takanobu SETTSU, Naoto TOMIZAWA, Masanao WATANABE, Steve RYAN, and Mariko UTSU (GSC: Global Studies Course); Atsushi NAKAMURA (Human Sciences & Culture Studies Course)

March 2020

山形大学人文社会科学部

海外研修／海外留学ガイド

Global

LIFE 2020

人文社会科学部で勉強しながら 海外でさらに学びを深めよう！

📌 目的や時期、予算に応じたさまざまな研修／プログラムが充実

学部 プログラム	短期海外実習	本学部学生向けにカスタマイズした異文化理解の実践的研修。2週間～3週間の実習で、期間に応じて2あるいは4の「異文化間コミュニケーション1」の単位を取得します。	P.4
	協定校留学(学部間)	3ヶ月程度～1年間、学部が交流協定を持つ海外の大学に留学。「留学事前演習」を受講し、学部内選考を経て派遣が決定されます。	P.13
その他の 学内 プログラム	協定校留学(大学間)	3ヶ月程度～1年間、大学が交流協定を持つ海外の大学に留学。「留学事前演習」を受講し、学内選考を経て派遣が決定されます。	P.13
	学生大使派遣プログラム	日本語や日本文化を紹介する「学生大使」として海外へ派遣。基盤共通教育科目として単位取得できるものと、学部の「異文化間コミュニケーション2」として単位認定できるものの2種類があります。	P.15
	ペルー派遣プログラム	本学ナスカ研究所で協定校と交流、講義とフィールドワークを通じて学びます。	P.16
	「山形・アンデス諸国」ブリッジ人材育成プログラム	1年間、南米の協定校に留学。スペイン語を学び、現地の大学で専門科目を受講します。	P.17
学外 プログラム	民間企業等が主催する語学研修 海外インターンシップ 協定関係のない大学への留学	「異文化間コミュニケーション2」として単位認定が可能な場合があります。	P.18

📌 単位認定の制度

人文社会科学部では、海外研修や留学の実績を授業科目として単位認定する制度があります

異文化間コミュニケーション 1 の単位取得

学部が主催する短期海外実習を受講することによって取得できます。

異文化間コミュニケーション 2 の単位認定

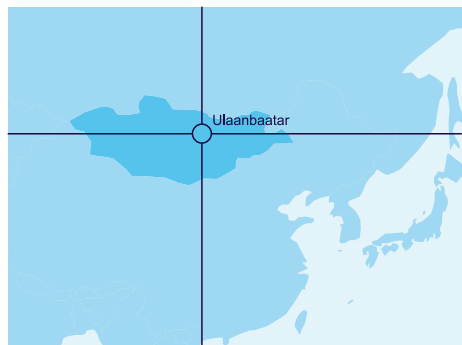
シラバスの「異文化間コミュニケーション2」に明記した条件が満たされていれば、単位が認定されます。出発前には「事前確認」の手続き、帰国後には「単位認定願」の手続きを行ってください。「単位認定願」の際に必要なので、プログラム参加期間中は必ず日誌をつけ、研修や活動の内容・時間数・日数が分かるようにしておきましょう。

その他の学部開講科目 による単位認定

1学期以上の期間に渡って留学し、現地の大学の科目を受講して単位取得した場合、本学人文社会科学部の開講する科目として単位認定申請ができます。内容の類似した科目を選び、必要書類と合わせて「単位認定願」の手続きを行ってください。令和2年度以降に入学したグローバル・スタディーズコースの学生は、「外国語・外国事情」を当て、実践科目として単位認定することもできます。

「異文化間コミュニケーション1」以外は、「単位認定」の手続きが必要です

どの科目として認められそうか、どのような書類が必要になるかなどの相談は、学生センター（人文社会科学部担当窓口）まで



人文社会科学部主催短期海外実習

モンゴル 実習 in 新モンゴル学校

首都 | ウランバートル 人口 | 317万9,800人
面積 | 156万4,100km² (日本の約4倍) 言語 | モンゴル語

モンゴル・ウランバートルの新モンゴル学校で、現地高校生の学習サポートをするプログラム

プログラムのポイント

1. 現地高校生に「日本」を伝えることで、日本への理解、異文化への理解を深める
2. 日本人大学生・モンゴル人高校生が“学び”を通じて真剣に向かい合うので、コミュニケーション力や行動力が飛躍的に向上する

data			
集合／解散	ウランバートル	宿泊	現地学生寮
研修期間	約3週間	使用言語	主に日本語
費用	約14万円 (航空券、現地食費。宿泊費は不要)		

※2020年度7月末～8月20日頃に実施予定



事前学習



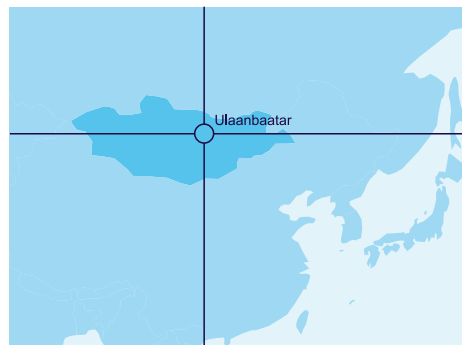
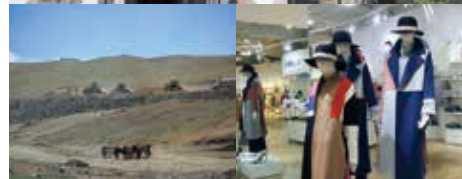
現地実習

日本語・日本文化
の学習サポート
文化交流



事後学習

報告書作成
成果発表



人文社会科学部主催短期海外実習

モンゴル 実習 in モンゴル日本センター

首都 | ウランバートル 人口 | 317万9,800人
面積 | 156万4,100km² (日本の約4倍) 言語 | モンゴル語

モンゴル・ウランバートルにあるJICAのモンゴル日本センターで職業体験をするプログラム

プログラムのポイント

1. 海外でインターンに近い経験ができる。日本センターのビジネス課、日本語課、図書交流課で実際の業務を行う
2. 在モンゴル大使館やJICA、青年海外協力隊の派遣先など、日本の公的な国際交流の現場を訪問し、レクチャーを受ける

data			
集合／解散	現地	宿泊	現地ホテル
研修期間	約2週間	使用言語	主に日本語
費用	約20万円 (航空券、現地食費、宿泊費、研修費)		

※2020年度8月～9月、あるいは3月に実施予定



事前学習



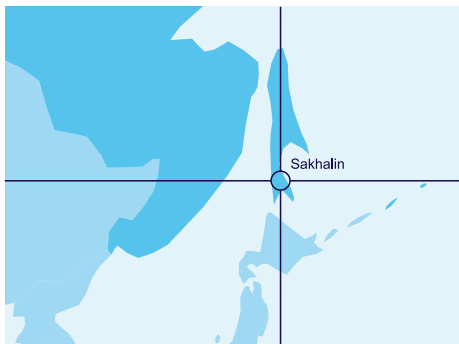
現地実習

モンゴル日本
センターでの
職業体験・
現地機関の
見学など



事後学習

報告書作成
成果発表



人文社会科学部主催短期海外実習

ロシア 実習

首都 | モスクワ
人口 | 1億4,680万人
面積 | 約1,710万km² (日本の約45倍)
言語 | ロシア語

ロシア・サハリン島で、ロシアの中の日本を知り、ボーダーランドのあり方を実感するフィールド・ワークプログラム

プログラムのポイント

1. 戦前まで日本領だったサハリン島南部の各地で、日本時代の痕跡にふれる
2. 戦前から残留している日本人にインタビューし、ボーダーランドに生きた歴史と対面する
3. サハリン国立大学の学生との交流をはかり、ロシア理解、ロシア人との友好を深める

data			
集合／解散	新千歳空港	宿泊	民間ホテル
研修期間	約10日	使用言語	主に日本語
費用	約20万円 (航空券、宿泊費、食費)		

※2020年度9月に実施予定



事前学習



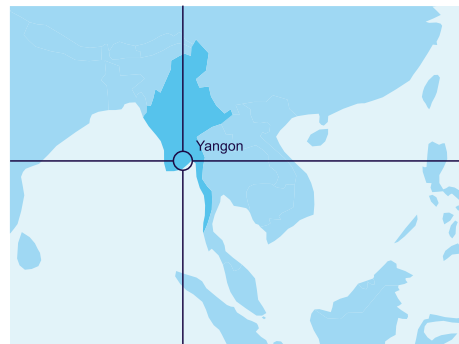
現地実習

現地巡検
インタビュー
国際交流



事後学習

報告書作成
成果発表



人文社会科学部主催短期海外実習

ミャンマー 実習

首都 | ネーピドー
人口 | 5,141万人
面積 | 68万km² (日本の約1.8倍)
言語 | ミャンマー語

ミャンマーで、多文化共生や開発の現状を学び、提携校の学生と共同でフィールドワーク(現地調査)を学ぶプログラム

プログラムのポイント

1. ミャンマーで、国際協力と多文化共生について具体的な事例を通して理解を深める
2. 提携校と合同で現地調査を行い、フィールドワーク能力を身につける
3. 現地学生との英語での交流を通して、実践的英語会話能力を向上する

data			
集合／解散	ヤンゴン	宿泊	民間ホテル
研修期間	約2週間	使用言語	英語
費用	約12~14万円 (航空券、食費、小遣い)		

※2020年度12月末～1月初旬に実施予定



事前学習



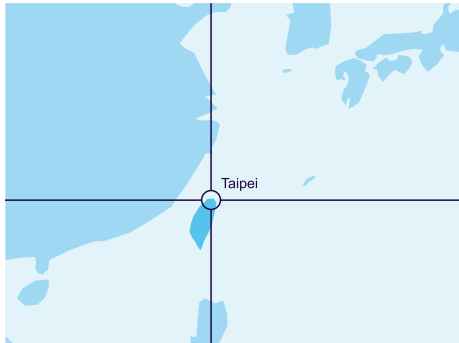
現地実習

社会見学
フィールドワーク
調査発表



事後学習

報告書作成
成果発表



人文社会科学部主催短期海外実習

台湾 実習

主要都市 | 台北、台中、高雄
面積 | 3万6,000 km² (九州よりやや小さい)

人口 | 約2,357万人
言語 | 中国語、台湾語など

台湾・台北の台湾師範大学で中国語研修を行い、師範大の学生と共同して街頭調査を実施するプログラム

プログラムのポイント

1. およそ70時間の中国語研修で集中的に中国語コミュニケーション力を養う
2. 受入れ大学の学生との街頭調査を通して情報収集・まとめを行い課題解決を実践する
3. 受入れ大学の学生や一般市民との交流を通して、異文化への理解を深める

data			
集合／解散	仙台空港	宿泊	大学の寮
研修期間	3週間	使用言語	中国語
費用	約20万円 (学費、航空券、寮費)		

※次回は2021年度以降の予定



事前学習



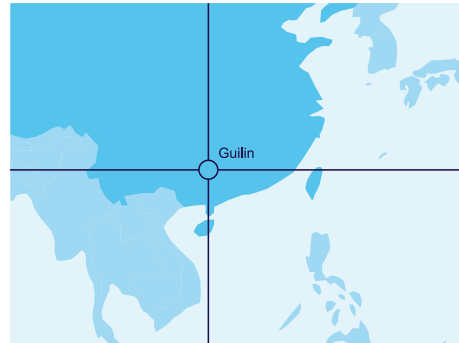
現地実習

中国語研修
街頭調査
現地学生との交流



事後学習

報告書作成
成果発表



人文社会科学部主催短期海外実習

中国 実習

首都 | 北京
面積 | 約960万 km² (日本の約26倍)

人口 | 約13億9,000人
言語 | 中国語

中国・桂林の広西師範大学で中国語研修を行い、師範大の学生と共同して街頭調査を実施するプログラム

プログラムのポイント

1. およそ30時間の中国語研修で集中的に中国語コミュニケーション力を養う
2. 受入大学の学生との街頭調査を通して情報収集・まとめを行い課題解決を実践する
3. 受入大学の学生や一般市民との交流を通して、異文化への理解を深める

data			
集合／解散	羽田空港(予定)	宿泊	大学の寮
研修期間	2週間	使用言語	中国語
費用	20万円台 (学費、航空券、寮費)		

※2020年度8月に実施予定



事前学習



現地実習

中国語研修
街頭調査
現地学生との交流



事後学習

報告書作成
成果発表



人文社会科学部主催短期海外実習

オーストラリア 実習

首都 | キャンベラ 人口 | 約2,460万人
面積 | 769万2,024km² (日本の約20倍) 言語 | 英語

オーストラリア・メルボルンのモナッシュ大学が提供するグローバル・プロフェッショナルズ・プログラム

プログラムのポイント

1. IELTS 5.5、TOEIC ibt 71、あるいはTOEIC 700程度の英語力を持っていることが参加条件
2. 英語力の向上だけでなく、グローバル社会における仕事というものの理解を深めたいと望む学生に適したプログラム
3. オーストラリアの日系企業を訪問し、卒業後のビジョンを得る

data			
集合／解散	成田または羽田空港	宿泊	ホームステイ*
研修期間	3週間	使用言語	英語
費用	約42万円 (航空券、学費、ホームステイ経費)		

※宿泊は、追加料金で学校近郊のアパートも可。

※2020年度8月～9月に実施予定



事前学習



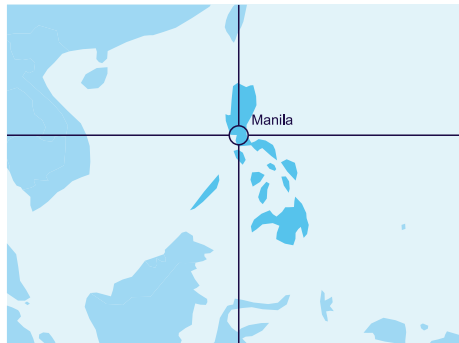
現地実習

英語・
ビジネス研修
企業訪問



事後学習

報告書作成
成果発表



人文社会科学部主催短期海外実習

フィリピン 実習

首都 | マニラ 人口 | 約1億98万人
面積 | 29万9,404km² (日本の約8割) 言語 | フィリピン語、英語

フィリピン・マニラのエンデラン大学で英語研修(2週間)とインターンシップ(1週間)を実施するプログラム

プログラムのポイント

1. 一日最大8時間の英語研修で集中的に英語コミュニケーション力を養う
2. 英語を使いながら仕事(インターンシップ)をすることで、実践経験を積む
3. 学内／週末のアクティビティを通じて、各国からやってきた学生と交流し、異文化に対する視野を広める

data			
集合／解散	マニラ	宿泊	大学の寮
研修期間	3週間	使用言語	英語
費用	約23万円 (学費、航空券、寮費)		

※次回は2021年度以降の予定



事前学習



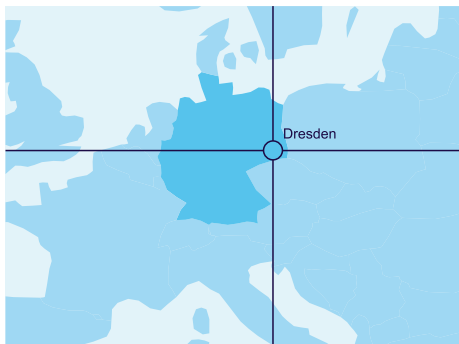
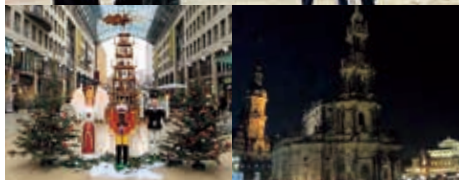
現地実習

英語研修
インターンシップ
アクティビティ



事後学習

報告書作成
成果発表



人文社会科学部主催短期海外実習

ドイツ 実習

首都 | ベルリン
人口 | 8,279 万人
面積 | 35 万 7,400 km² (日本の約 9 割)
言語 | ドイツ語

ドイツ・ドレスデンのドレスデン工科大学語学研修所 (TUDIAS) でのドイツ語研修 (2 週間) と実地研修を行うプログラム

プログラムのポイント

1. ネイティブ教員による懇切丁寧な指導によりドイツ語コミュニケーション力を養う
2. TUDIAS 主催の文化交流プログラム等を通して、世界各国の学生たちとの交流を図る
3. ドイツ語を用いて現地の生活環境調査を行う

data

集合／解散	ドレスデン	宿泊	学生寮
研修期間	約 3 週間	使用言語	ドイツ語
費用	約 23 万円 (学費、航空券、宿泊費)		

※2020 年度 3 月初旬に実施予定



事前学習



現地実習

ドイツ語研修
現地調査



事後学習

報告書作成
成果発表

協定校留学

山形大学あるいは人文社会科学部と交流協定を結んだ世界各国の大学へ、派遣学生として留学するプログラム

大学間協定と学部間協定があり、いずれも学内では「交換留学」「派遣留学」あるいは「短期派遣留学」と呼ばれます。

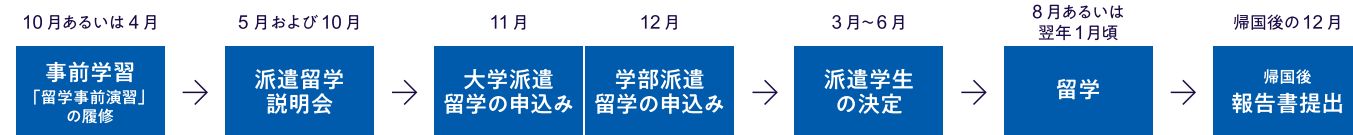
プログラムのポイント

1. 派遣先大学の授業料は不要
2. 休学期間なく、本学を 4 年間で卒業可能
3. 多くの協定校が受入れ条件として所定のレベルの外国語能力を定めている

協定校の所在国・地域一覧

アメリカ	オランダ	台湾	フランス	マレーシア
アルメニア	カナダ	中国	ブルネイ	モンゴル
イギリス	韓国	チリ	ベトナム	ラトビア
イタリア	ケニア	ドイツ	ベナン	リトアニア
インドネシア	スペイン	パキスタン	ペルー	ロシア
エストニア	タイ	フィリピン	ボリビア	

交換留学の流れ



data

留学期間 派遣先大学の学年暦で 1 学期 (通常 3 ヶ月) から 1 年間まで ※派遣先大学ごとに異なります。

生活費 (1 ヶ月) 欧米 10 万円、バルト三国 5 万円、中国 2～3 万円
台湾 5 万円、東南アジア 3 万円程度

協定校留学を目指す学生は次ページの
「留学事前演習」を履修してください

www.yamagata-u.ac.jp/jp/international/abroad/short

※詳しくは山形大学 WEB サイト「短期派遣留学」へ。協定のある大学は「学術交流協定」で確認できます。また、5 月と 10 月に開催される派遣留学説明会で最新の派遣先大学一覧が配布されます。



「留学事前演習」の履修

協定校などへ留学する計画の学生を対象とした渡航準備の授業科目

憧れの地に赴くことそのものは協定校留学の目的ではありません。留学して何をするか明確な目的・意義を自覚していることが、履修にあたっての必要要件です。

留学への強い気持ちだけでなく、問題意識、意思を伝える積極性、多様性を受容する態度、カルチャーショックを乗り越える力、危機管理意識、授業履修のためのアカデミックな専門性、言語運用能力のブラッシュアップを行います。

授業の特色

1. 履修開始年次は1年後期以降
2. 少人数のグループ学習／個別学習
3. 希望する留学先の言語圏の多様性を反映して、5種類の留学事前演習を開講(1.英語、2.ドイツ語、3.フランス語、4.ロシア語、5.中国語)



学生大使派遣プログラム



山形大学がサテライトオフィスを置くベトナム、中国、インドネシア、ケニア、ラトビア、モンゴルの大学に「学生大使」として赴き、日本語を教えながら日本文化を紹介し、現地学生との交流を通してグローバルな視野を獲得するプログラム

学生大使派遣プログラムには、次の2種類があり、2番の「学生大使派遣プログラム(単位認定外・通年派遣型)」を修了した本学部学生は「異文化間コミュニケーション2」として単位認定が可能です。

1. 基盤共通教育科目(後期集中講義) 「学生大使」派遣プログラムに チャレンジしよう

基盤共通教育科目(教養科目・学際分野)に位置付けられる授業科目です。

プログラムのポイント

1. 派遣期間は2週間～1ヶ月程度
2. 渡航補助金制度あり

2. 学生大使派遣プログラム (単位認定外・通年派遣型)

人文社会科学部で、「異文化間コミュニケーション2」として単位認定が可能です。

プログラムのポイント

1. 派遣期間は2週間～1ヶ月程度
2. 渡航補助金制度あり

派遣学生の
声を掲載中!



派遣の申込み



派遣学生の決定



事前学習

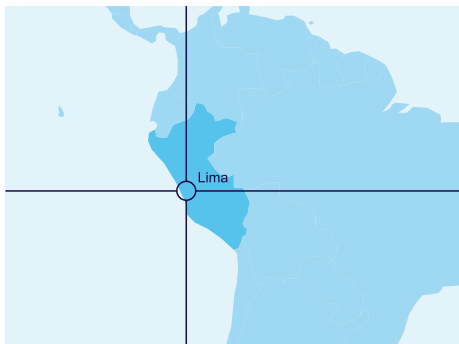


現地実習



事後学習

山形大学「学生大使派遣プログラムについて」 www.yamagata-u.ac.jp/jp/international/ambassador



ペルー 派遣プログラム

首都 | リマ 人口 | 3,311万人
面積 | 128万 5,220 km² (日本の約3.4倍) 言語 | スペイン語 (他にケチュア語、アイマラ語等)

ペルーのリマとナスカで協定校と交流し、講義とともにフィールドワークを実践するプログラム

プログラムのポイント

1. 山形大学ナスカ研究所で最新の研究成果に関する講義を受講し、地上絵・博物館を見学する
2. 現地協定校での講義と交流活動を通して英語とスペイン語のコミュニケーション能力を高める
3. 前期・後期を通して開講される「スペイン語Ⅰ・Ⅱ」(文法・会話)の履修が参加条件

data			
集合／解散	リマ	宿泊	民間ホテル
研修期間	約10日間	使用言語	日本語・英語・スペイン語
費用	約25万円 (航空券、現地食費、宿泊費、活動費)		

※2020年度春休みに実施予定



スペイン語Ⅰ・Ⅱ
履修登録・履修



現地実習

講義
フィールドワーク
国際交流



事後学習

報告書作成
成果発表

「山形・アンデス諸国」ブリッジ人材育成プログラム



ペルー・ボリビア・チリにある山形大学協定校のいずれかに留学し、スペイン語能力の向上をはかるとともに、現地で行われる専門科目の授業を履修し単位を修得するプログラム

終了時点でビジネスレベルのスペイン語能力に到達することを目標とします。

プログラムのポイント

1. 派遣先大学の授業料の優遇処置 (免除か減額) あり
2. 給付型奨学金制度あり

data	
派遣期間	原則 1 年間 (8 月派遣 or 3 月派遣のどちらか)
使用言語	英語・スペイン語

派遣の申込み



派遣学生の決定



留学



事後学習

民間企業等が主催する語学研修、 海外インターンシップ、協定関係のない大学への留学

山形大学以外の公的機関や民間企業等が主催する海外研修プログラムや海外インターンシップ、また、学生がみずから選定した留学についても、その内容が所定の要件を満たしていれば、「異文化間コミュニケーション2」として単位認定が可能です。

「異文化間コミュニケーション2」として単位認定を考えている場合は、出発前に「事前確認願」、帰国後に「単位認定願」の手続きを行ってください。

※「事前確認願」「単位認定願」の書類は学生センター（人文社会科学部担当窓口）にあります。

民間の
海外語学研修に
参加したい



事前確認願
の提出



プログラムの
事前確認



海外研修



単位認定願
の提出

プログラム内容が分かる資料を添えて提出。

学習内容や時間数・日数等に基づき審査します。

日誌を作り、日々の活動内容を記録しましょう。

下記書類を添付して提出。
●修了認定証 ●研修日誌
●研修報告書等



学生の声

日本を飛び出して、世界各地で
学びを深めた学生の声を紹介します。

1 | 短期海外実習 → フィリピン

英語力の向上が目標。毎日が
新しい発見の連続で充実した日々！

菱田美帆さん（グローバル・スタディーズコース）

私は、プログラムにインターンシップが組み込まれていることと、英語学習に特化した国で英語力を向上させたいとの理由から、今回のフィリピン研修に参加しています。フィリピンはご飯がとてもおいしく、人柄も温厚で、とても充実した日々を過ごせています。

授業は、グループ授業とインターンシップに向けた授業、マンツーマン授業の3つに分けられていて、授業を通して積極的に英語を話したり、英語で物事を考えたりすることができるようになりました。ここでの授業は、毎日が新しい発見と楽しさでいっぱいです。



2 | 海外インターンシップ → ミャンマー

インターン活動を通して成長。
貴重な経験を得ることができました！

大友華子さん（グローバル・スタディーズコース）

私は2年生の夏休みに、「トビタテ! 留学 JAPAN」プログラムに採用され、1か月間インターンとしてミャンマーで過ごしました。インターン先では、少数民族の学生を前に日本語を教えました。この経験を通じてミャンマーの様々な学生と交流ができ、語学研修とは異なる貴重な体験となりました。そもそも、私がインターンになりたいと思ったのは、1年生の時にミャンマー研修に加わり、現地の学生にとってもお世話になったからです。友達に恩返しをしたいという一心で、トビタテ!に応募しました。研修とインターンシップを通して、外国語を学ぶモチベーションも一気に高まり、また現地の文化を少しでも知りたいと強く思うようになりました。大学生になってから、ミャンマーの友人を持つことができたことは、私にとってかけがえのない経験となりました。

